

さいたま

Nursing

2021.1.18 NO. 126



武蔵一宮 氷川神社



会員数 25,815名 (2020.11.30 現在)

保 健 師	446名
助 産 師	953名
看 護 師	23,775名
准 看 護 師	641名
対 前 年 度 比	96名増



埼玉県看護協会ホームページ
<https://www.nurse-saitama.jp>

特集 新年のごあいさつ

P2~3

- ❖ 緊急講演「新型コロナウイルス感染症の現状とこれからの備えて」 P3
- ❖ 新年のごあいさつ（各委員会より） P4~5
- ❖ 埼玉県ナースセンター P6~7
- ❖ 支部活動REPORT／お知らせ P8

新年のごあいさつ

公益社団法人埼玉県看護協会
会長 松田 久美子



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

会員の皆さまには、新型コロナウイルス感染症の最前線での看護活動、また保健所、地域医療や介護福祉の分野で住民の生活を護る活動など、それぞれのお立場で緊張と苦悩の一年であったと推察いたします。心より敬意と感謝を表します。

令和2年は新型コロナウイルス感染症の対応に明け暮れた一年ではありましたが、これほど看護に注目が集まった年はなかったと思います。保健師・助産師・看護師・准看護師、すべての看護職が置かれた場で、感染症制圧の過酷な業務に懸命に取り組んだ行動力は、看護のポテンシャルの高さを物語ったといえるのではないのでしょうか。これは希望ともいえます。

コロナ禍ではありますが、定款に定められた事業および今年度の重点事業については一部縮小したものの、おおむね実施しております。4月時点では、新人研修をはじめとする研修を例年どおり実施できず、会員の皆さまには多大なご迷惑をおかけいたしました。8月末より徐々にオンライン研修を推進できたことは成果としてご評価いただいております。

期初の計画に加え、新型感染症に関する埼玉県事業である「軽症者宿泊療養」支援を4月から半年間受託しました。当協会職員および臨時雇用看護師44名を4か所のホテルに派遣調整いたしました。「帰国者・接触者相談センター（12月より受診・相談センター）」は7月より現在まで、職員と保健師・看護師およそ100名で継続しております。この活動を通して、看護協会の使命である「県民の健康な生活の実現に寄与する」ことができましたことは、多くの皆さまのご理解・ご協力の賜物とお礼申し上げます。これらの活動を振り返り、次年度の事業計画に反映してまいります。

昨年末、「はやぶさ2」が明るい話題として挙げられました。あらゆる困難に屈しないミッションの達成は、思わず人格化してしまう希望の星です。兄から使命を引き継いだ弟が採取カプセルを地球に届け、すぐさま次のミッションに粛々と向かう…その姿を日々活動する看護職の姿に重ねてしまうのは私だけではないと感じています。

協会役職員一同も、使命を果たすべく邁進してまいり所存です。会員の皆さま方におかれましては、本年もご指導・ご支援のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



会長、専務、常務理事

新年のごあいさつ

副会長 石川 治美



新年あけましておめでとうございます。

昨年は世界中が新型コロナウイルス感染症という災禍に見舞われました。未だにその対応に追われる状況の中、看護の手を止めることなく、それぞれの現場でご尽力されている会員の皆様に敬意を表します。

奇しくも昨年は、感染管理の礎を築いたナイチンゲール生誕200周年の年でした。私たち看護職は、感染症拡大に限らず過去にいくつもの災害に直面し、そのたびに大きな力を発揮してきました。これからもその力と看護職が持つ可能性は無限大であると信じています。そして、現場において看護職が存分にその力を発揮できるよう、会員の皆様にとっての埼玉県看護協会が「疾風勁草」の存在となるよう、尽力していく所存です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のごあいさつ

副会長 山中 富美代



新年明けましておめでとうございます。

2020年度は新型コロナウイルス感染症という未知のウイルスに奔走した1年でした。

強い使命感で新型コロナウイルス感染症に立ち向かい、最前線で看護を実践している医療職の皆様に敬意を表します。

人生100歳時代と言われ、労働人口が減少する一方で、医療・看護のニーズは益々高まり、看護職の確保は喫緊の課題となっています。プラチナナースの活用など更に推進していく必要があります。これまで経験したことのない緊迫感の中で、協会としての役割を果たせるよう会員の皆様とともにこの難局を乗り越えていきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

緊急
講演

新型コロナウイルス感染症の 現状とこれからに備えて



12月5日(土)に、川崎市健康安全研究所所長である岡部 信彦先生にご講演いただきました。先生は現在、内閣官房参与であり、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会構成員および、埼玉県の新型感染症専門家会議委員の職にも就かれております。講演会の開催形式は、ハイブリッド(対面+オンライン)を取り入れ、88名の皆さんが受講されました。

令和2年の第1波の経験から得た感染症の特徴や、感染対策の有効性などについてデータを基にご説明いただきました。また、海外で開発されている新型コロナウイルス感染症ワクチンに関する開発経過や有効性、副反応を含めた安全性についての言及がありました。さらに、国内の医療体制の動向など、コロナとの闘いにおける要諦を示していただく貴重な機会となりました。

受講生からは、「地域での医療・介護の会議に参加する機会があるが、適切な情報が届いていない現状を感じていました。今回の講義をとおして判断基準がより明確になりました」等の感想が寄せられました。

教育担当一同は、今後も時宜にかなった情報発信・研修企画の立案を推進し、会員の皆さまのニーズに応えていきたいと考えています。

(教育担当)



多くの質問が寄せられた



ハイブリッド形式の講演会

各委員会より新年のごあいさつ

今年もよろしく申し上げます

保健師職能委員会

田邊 奈緒子

令和2年度の研修は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で中止しましたが、新たにメンタルヘルスのオンライン研修を県職員協議会・市町村保健師協議会と企画し、今月開催します。



令和3年度は、災害時の保健活動や保健師に必要な面接技術等のオンライン研修を実施予定です。会員の皆様に有益な企画を考えますので、よろしくお願いいたします。

助産師職能委員会

谷島 春江

子育て世代包括ケアシステムにおける看護機能の強化、安全で安心な出産環境の体制の整備、助産師実践能力強化を目標に活動していますが、コロナ禍、産科交流会をはじめ多くの研修が中止となり情報共有の場が減少しました。今後も、助産師が常に専門性を発揮できるようにネットワークを構築し情報共有をしていきたいと考えています。



看護師職能委員会Ⅰ

細谷 美穂

コロナ禍のため、病院実習の中止や短縮を、余儀なくされた看護学生のその後の問題点について看護大学、専門学校、病院で意見交換を行いました。学生の現場での対応能力や、基礎体力の低下が懸念され、学校側と病院との連携が重要であると考えられます。次年度は、コロナ禍で学校を卒業した新人の教育についてと、その現場を支える師長について考えてまいります。



看護師職能委員会Ⅱ

関口 敬子

新型コロナウイルス感染症の拡大により、5月・8月に予定していた委員会企画の研修は開催できませんでした。そこで「コロナ禍を通して見えてきたこと」をテーマに、貴重な体験を文書に残すことにしました。何らかの形で共有していきたいと考えています。



就業環境改善推進委員会 加賀谷 一恵

看護の安全は看護職の労働環境を整備していくことから、その整備が働き続けられる環境づくりを推進することにつながると思います。ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）で働き続けられる職場づくりを目指し、各施設が取り組んでいただけますよう、アンケート調査等の実施と結果の共有、研修会の企画、開催等の活動をしております。



教育委員会

菅野 一枝

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止やオンラインとなった研修も多く、皆様の自己研鑽や各施設の教育計画にも影響があったことと思います。withコロナの中での新年となりましたが、新たに手に入れたオンラインという研修方法も活用し、できるだけ会員の皆様に有益な研修を提供できますよう活動してまいります。



組織強化委員会

新井 久栄

コロナ禍により第1回の会議は、7月17日となり、3回目以降はリモート会議に切り替えました。現状、訪問や対面での会員拡大は難しい為、ネットワーク強化に焦点を当て、メーリングリストの作成やスピード感のある情報の伝達方法を検討しています。また、新たに福祉施設の入会状況を把握したので、今後に活かしていきたいと思います。



広報委員会

佐々木 智子

「生きるを、ともに、つくる」をテーマに専門職として、その責務を果たすため仲間と力を合わせ日々コロナ禍で奮闘している現場の状況を、様々な視点からお伝えしてきました。2021年も引き続き、会員の皆様のご協力の下、広報誌の特集が少しでも勇気、希望に繋がることを願い、委員一同編集活動に尽力して参ります。



学会委員会

柿澤 由紀子

埼玉看護研究学会は、第28回を迎え、テーマは「看護が創る埼玉の未来-Chance Challenge Change-」でした。しかし新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、残念ながら本会での開催を中止し、37演題を誌上での論文発表としました。来年度以降の開催方法についての検討が必要ですが、看護の質向上を目指し臨床に根差した学会運営をしていきたいと思っています。



認定看護管理者教育運営委員会

國分 始子

8/20に第1回目の委員会を実施、11/5にZoom会議実施、第3回は2/3にZoom開催予定。

来年度は、セカンドレベル：40名・5/20~7/21、サードレベル：20名・8/25~10/29、ファーストレベル：60名・11/25~1/14を予定。

こんな時代だからこそ、確かな人材を育てることが、急務である。エビデンスに基づいた看護管理教育を行い、現場で活用できる学びの機会を提供したい。

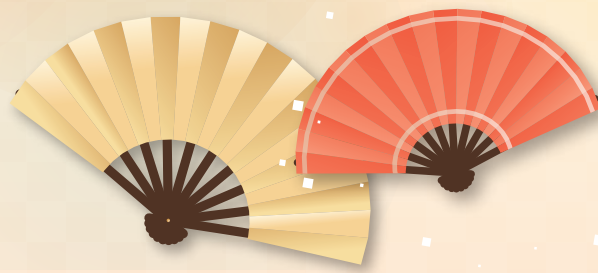


災害看護対策委員会

伊原 暁子

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、密を意識して参加人数を半減、座席の配置や研修方法の工夫、Zoom研修も試みました。次年度も研修7回開催予定、研修内容と更新年数について委員会で協議し、実のある研修になることを目指していきます。

3.11あの日から10年。3月11日にメモリアル企画として開催いたします。



医療安全推進委員会

武井 真由美

2020年度は、医療安全管理者研修の集合研修自体が難しいため、e-ラーニングで受講できるようにしました。

来年度もこの状況は続くと考えられるため、引き続きe-ラーニングと全段階のレベルに応じた研修、フォローアップ研修等を考えています。大変な状況ですが、こんな時だからこそ“笑顔であいさつ”を“チームで乗り切りましょう”



看護を考える委員会

石川 治美

企画していた准看護師進学支援交流・研修会は中止となりましたが、埼玉県の看護を考えるうえで、准看護師進学支援は継続して取り組むべき課題です。来年度は、どのような状況下でも柔軟に対応できる支援体制の構築に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症対応に伴う実態調査の結果を基に、看護の質向上に繋がる活動を検討したいと考えております。



埼玉県ナースセンターは キャリアの継続を支援します！



埼玉県の医療施設等で就業している看護職数（保健師・助産師・看護師・准看護師数）は2008年49,751人、2018年68,722人、この10年間を比較すると18,971人（38,1%）増加していますが、常に看護職不足の状況です。ナースセンターでは、この状況を解消するため「新規養成」「定着促進」「復職支援」を柱に取り組みを進めています。

人口構造の推移を見ると、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化し、現役世代の人口の急減という新たな局面における課題への対応が必要となります。今後、超少子高齢・人口減少社会において、益々多様化する医療・介護ニーズの増大が予測されます。

ナースセンターは、将来を見据え、すべての看護職が力を発揮でき、社会の役割を果たし働き続けられるよう、様々な事業を展開し継続的な支援をします。

あなたらしい働き方を一緒に考えます！



中学生・高校生

- 「看護への道」進路相談会 県内の看護系学校が参加し説明ほか、看護学生による体験談等
- 冊子「看護への道」配布 看護の仕事内容・活躍の場、資格取得までの進路課程、学校一覧



看護学生

- 就職活動のお手伝い 最終学年からはeナースセンター（お仕事探し）の登録可能！
- 就職に関する悩み相談 希望の職場が選べない、私に合った職場は？



復職支援

- 届出制度「とどけるん」の登録 退職時・離職中の方は登録してください
- eナースセンターへの登録推進 復職に向けての仕事探し、多様な働き方の相談等
- ブランクを経て働く方 講習会のご案内や、働く場所の相談
- 技術講習会（再就業技術講習会、オーダーメイド技術講習会） 病院、施設の演習、協会等での実技指導
- 多様な働き方を応援 子育て・介護等を考慮した働き方について一緒に考えます
- 巡回就職相談 ハローワークで看護職相談員が行います



多様な働き方応援

- 仕事の悩み相談（ワークライフバランス、メンタルヘルスなど）
- ライフスタイルにあった仕事探しのお手伝い（転居、子育て、介護、進学など） 来所、電話、eナースで！



プラチナナース

- 定年退職後のお仕事探し 「とどけるん」の登録から「eナースセンター」へ連動できます！
- ネクストキャリア研修 「年金の話」「多様な働き方」の紹介や体験談が聞けます

日本看護協会の新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症に翻弄された2020年。埼玉県より、4月に「ホテル療養支援」、6月に「電話相談」の協力要請がありました。日本看護協会の中央ナースセンターからの復職依頼メールも後押しとなり、多くの潜在看護師の皆さまのお力を集め埼玉県からの協力要請に応じることができました。

今もなお、全国で新規感染者・重症者数が増加傾向にあります。埼玉県ナースセンターでは、4月にご支援いただいた皆さまへ再度の復職要請をお願いするなど、新型コロナウイルス感染症への対応を続けてまいります。

求人・求職!まずはeナースセンターを活用してください!

初めて求職登録する方は はこちらから!

ナースセンターは看護職のキャリアを支援します。

ナースセンターとは

★eナースセンターとは、インターネット上の無料職業紹介サイトです



埼玉県看護協会のホームページのeナースセンターを開いてね。
メールアドレス、氏名等を入力して送信すると、URLが返ってきます。
そのURLにアクセスして登録を完了させてください。



「eナースセンター」は「とどけるん」から先に登録すれば便利!

「とどけるん」の入力画面で「eナースセンターへの登録を希望する」を選択すれば、ID・パスワード、基本情報が反映されます。

★行政職、研究職、看護教員の方は「とどけるん」の届出の対象となりますのでご登録をお願いいたします

ハローワーク巡回就職相談であなたの街へ!

看護職の経験者に相談したい、これから看護職を目指したい、ブランクがあるので講習や最近の情報が知りたい等ご相談ください。



※市町村色分けは各ハローワーク管轄区域

利用者の例

- 63歳、週3日程度の日勤希望。経験のある科のクリニックで、第2のキャリアをスタート!
- 私の街で相談できたので近くて便利でよかった。
- 巡回就職相談後も継続して電話で相談し、就職が決定しました。
- 自分に合った講習会を紹介され受講後、面接が決まった!

INFO

令和3年度 実施施設 募集中!

「再就業技術講習会」「セルフケア研修」

★詳しくは協会ホームページ(ナースセンター内)または下記までお電話を!

埼玉県ナースセンター ☎048-620-7337

月～金曜(祝祭日のぞく) 9:00～16:00

支部活動 REPORT

研修や学会など、地域の特徴をいかした各支部の活動を、インタビューをもとに紹介します。(聴き手：常務理事 黒田)

第4支部 入間市・所沢市・狭山市／会員数2,089名



支部長 高野紀子氏
(並木病院 副院長兼看護部長)

地域で創るセーフティネット

7月頃より、高野支部長は19名の支部役員とライン会議を始めたという。集合することが困難な状況にあったが、4支部の役員間の連携は途切れることはなかった。

周囲からは、物心両面での困りごとの連絡が入る。具体的な支援もさることながら、互いに、同じ地域の看護師として励ましあうことで気持ちのバックアップになっているようだ。

ある施設でクラスターが発生した際には、埼玉県看護協会本部（以下、本会）と連携して物資の手配を行った。支部の情報を本会へ、本会がホームページより発信する研修・補助金などの情報を支部へ。文字通り、支部と本会の架け橋として活躍されている。

今後のビジョンを伺ったところ、明快な回答をいただいた。

「支部役員に加え、看護管理者同士のネットワーク、さらには多職種との連携を強めていきたいです。地域の皆さまの健康に寄与し続けることが私たちの仕事だと思っています」

▼ INFORMATION

生きるを、ともに、つくる。

3.11メモリアル企画

テーマ 命をつなぐ・伝える ～10年前のあの日から未来へ～

講演 「災害に強い社会を創る」

北良株式会社 代表取締役社長 笠井 健 氏

「あの日から10年」～今、語り継ぐ～

岩手県医療局業務支援課看護指導監 高橋 弥栄子 氏

令和3年度

公益社団法人埼玉県看護協会総会

開催予定日：令和3年6月19日(土)

※詳細は調整中のため、決定しましたら本会ホームページでお知らせいたします

埼玉県看護協会 各支部の総会

書面による支部総会とします

編集後記

広報委員会

新規感染者の増加傾向に歯止めがかからない厳しい状況のまま令和3年を迎えました。昨年は、看護職であることに様々な思いが去来する一年だったのではないのでしょうか。とはいえ、私たちは立ち止まることなく、未来に向かって粛々と、すべきことを遂行してきました。前号のアンケートからも“新しい日常”を受け入れ、より良くしていこうという姿が見えるようなコメントを多数いただきました。

本号では、新年の抱負をいただき熱い思いを感じることができました。より良い看護の実現のために歩みを止めずにまいりたいと思います。文末になりますが、誌面作成にご協力をいただいた皆さまに、心よりお礼を申し上げます。

広報誌「さいたま」126号はいかがでしたか？ アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントが当たります。奮ってご参加ください。

◆応募締切：2/28(日) まで

◆抽選で30名様にクオカードをプレゼント

▼アンケート内容

- 1 興味を持った記事はありましたか。
- 2 看護の質向上のために挑戦・勉強したいことがありましたらお聞かせください。
- 3 体調管理のために工夫していることがありましたらお聞かせください。
- 4 本号へのご意見、ご感想をお聞かせください。
- 5 プレゼントに応募される方は、お名前、郵便番号、住所をご入力ください。



回答はこちら



QUOカード
500円分
プレゼント!!